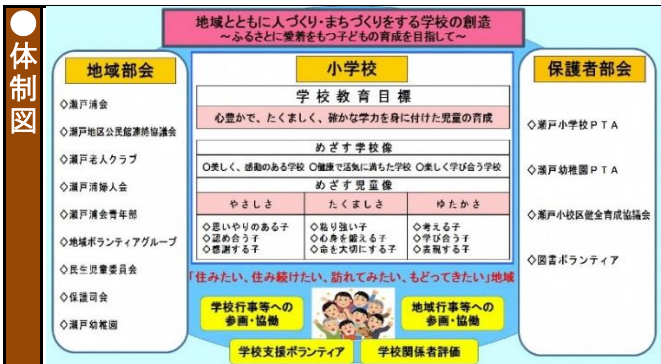


こんな活動です

地域とともに人づくり・まちづくりをする学校の創造 ～ふるさとに愛着をもつ子供の育成を目指して～

長崎県壱岐市		●活動名 瀬戸コミュニティ・スクール			●関係する学校名 壱岐市立瀬戸小学校		
協働活動開始年度	平成 29 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	8 学級	のべ児童・生徒数	69 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 3人		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 14人			
学校運営協議会	指定・設置日 平成29年4月17日設置	ボランティアの数	延べ登録人数 42人	企業・NPO等との連携	無		
参考URL	http://www.city-iki.jp/~seto-svo/						
●連絡先	壱岐市教育委員会 社会教育課			☎ 0920-45-1113			



●活動の概要・経緯

子供は未来の地域を担う一員である。そこで、学校では子供に自分の地域についてしっかりと学ばせる必要がある。また、地域でも子供をどのように育てるのか、地域の人がどのように子供と関わっていくことでふるさとに愛着をもった子供を育てることができるのかを考えていくことが重要である。そのため、地域と保護者、学校が目標やビジョンを共有し、一体となって子供を育むことが、持続可能な社会の実現につながると考える。本校は、「地域とともにある学校」の創造を目指し、「学校運営協議会」を設置して地域コーディネーターを中心に学校と地域・関係団体が協働する活動に取り組んでいる。地域の人の得意なことを生かした教育活動支援、学校行事等への地域の人の参画・協働、地域の行事等への子供の参画・協働など、相互に生き生きと活動する取組を工夫することで、子供、保護者、地域住民のそれぞれが「住みたい、住み続けたい、訪れてみたい、もどってきたい」地域とを感じることを目指して取り組んでいる。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①児童の活動に対する多彩な支援：地域ボランティア団体によるPTA時の子供見守り活動、県民祈りの日に向けた折り鶴作成のための支援と交流会、図書ボランティアによる読み語り、地域の体育指導員によるサッカー教室。
- ②学校行事への参画・協働：稲作体験活動・餅つき大会の指導・支援、夏休み作品展への参画、運動会への参画・協働。
- ③学校の環境づくり支援：校庭の樹木の伐採や剪定、草刈り等の支援、図書ボランティアによる図書室の掲示等の環境づくり支援。
- ④地域行事等への参画・協働：瀬戸浦風揚げ大会への参画、瀬戸祭りへの参画、独居老人宅への昼食弁当配りの協働。
- ⑤地域との熟議、地域貢献：地域の活動団体との定期的な熟議を行い、地域の課題を協議、共有している。子供は、毎週金曜日集団登校時のクリーン活動(通学路のゴミ拾い)の実施により地域貢献をしている。

【実施に当たっての工夫】

瀬戸浦会会長が地域コーディネーター役を担い、多様な人材や活動団体を学校教育諸活動につなげている。情報を共有し、人材のネットワークを広げたり、地域の課題への取組を検討したりしながら、相互の活性化を図っている。また、「あいさつができる子供を育てる。」という共有の目標に一丸となって取り組んでいる。それらの成果や課題、学校教育活動について、学校だよりやチラシ等で地域住民に周知・啓発することで、地域総がかりで子供を見守り、指導・支援する体制となっている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域の人の専門的な指導・支援によって、子供の学習効果が高まっている。また、地域の人の関わりが増えることによって、子供は安心して活動でき、ふるさとへの愛着、誇りを高めている。地域の人も、子供との協働や交流を喜び、地域の活性化につながっている。三世代の活動も多く、共に子育てについて考えることもできている。これらのことにより住民が地域の在り方を考える意識が高まっている。全世帯及び小・中・高校生に「どんな地域でありたいか」等のアンケートを実施し、その声を活動に反映させていくことで、地域との協働活動が充実してきた。教職員も学ぶことが多く、社会に開かれた教育課程の実現と今後の展望を見出すことができている。

●その他

学校運営協議会への呼びかけによって、定期的に地域・PTA・学校職員で校庭の環境整備の活動をしている。また、年間をとおしての地域の方から指導・支援をしていただきながら稲作体験活動・餅つき活動協働の活動を実践している。



く定期校庭の樹木の剪定や草刈り等の環境づくり



れつ稲作の連続的な実践(社会と開か餅つき大会の授業の実施)